3. 地域子育て支援事業に係る「量の見込み」の補正について

(1) 放課後児童健全育成(学童保育) 事業

<u>、 </u>								
	H27申込	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	H 3 1		
調査のニーズ量(通年)低学年		478人	462人	469人	470人	468人		
高学年		133人	133人	131人	133人	128人		
合計		611人	595人	600人	603人	596人		
量の見込みの考え方(1)	が、全国で	-	でも5歳児かため、小学	時点での利 学生の調査領	用希望が実 結果を「量	ミ際の利用 の見込		
量の見込み(通年)低学年		412人	399人	405人	406人	404人		
高学年 補正後(1) 合計		128人 540人	128人 527人	126人 531人	128人 534人	124人 528人		
量の見込みの考え方(2)	小学生の訓 る。	香結果に対	けしてH27年	度の入所申	込み人数で	で補正す		
量の見込み (通年) 補正後(1)	550人	540人	527人	531人	534人	528人		
補正後(2)		550人	537人	541人	544人	538人		
量の見込みの考え方(3)	コースがあ	だは通年利用 るが、利用 申込み数を	実績は年に	こよってバ				
量の見込み(通年)		550人	537人	541人	544人	538人		
" (長期休校)		193人	188人	190人		189人		
補正後(3) 合計		743人	725人	731人	735人	727人		

(2) 時間外保育(延長保育) 事業

	H25実績	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	H 3 1		
調査のニーズ量 (日利用児童数)		102人	101人	98人	95人	92人		
調査の二一ズ量 (年間利用児童数)平日240日	13, 672人	24, 480人	24, 240人	23, 520人	22, 800人	22, 080人		
量の見込みの考え方	等も含まれ 年々利用か	には父母等の いると考えら が伸びている 5半に伸びる	oれ、実績(が、H27か	直と大きく らの新制度	差がある事 で標準保育	。また、 育時間が18		
量の見込み(補正後) (日利用児童数)	570人	570人	564人	548人	531人	514人		

(3) 子育て短期支援(ショートステイ) 事業

(年間利用児童数)	H25実績	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	H 3 1
調査のニーズ量	なし	21人	21人	20人	19人	19人
量の見込みの考え方	ニーズ量が極端に少ないため当面の間、事業は実施しない。					
量の見込み(補正後)		0人	0人	0人	0人	0人

(4) 地域子育て支援拠点事業

(年間利用児童数)	H25実績	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	H 3 1	
調査のニーズ量	10,864人	18, 112人	17, 740人	17, 554人	17,062人	16,636人	
量の見込みの考え方	調査結果には父母等の支援がある事で利用の必要性がない場合 も含まれると考えられ、実績値と大きく差がある事。また実績 は年々少なくなる傾向がある事から、直近の実績値を基本とす る。						
量の見込み(補正後)	10, 864人	10,864人	10, 641人	10, 529人	10, 234人	9, 979人	

(5) 一時預かり事業

幼稚園等における一時預かり (預かり事業)

(年間利用児童数)	H25実績	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H30	H 3 1
調査のニーズ量 1号認定	データなし	71人	71人	67人	65人	63人
2号認定	7 6	1,528人	1,522人	1, 445人	1,391人	1,361人
合計		1,599人	1,593人	1,512人	1,456人	1,424人
量の見込みの考え方	補正なし					
量の見込み(補正後)		1,599人	1, 593人	1,512人	1, 456人	1, 424人

②保育園等の一時預かり

(年間利用児童数)	H25実績	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	H 3 1	
調査のニーズ量	3,066人	2,399人	2,368人	2, 289人	2, 208人	2, 154人	
量の見込みの考え方	実績値と差がある事。また実績は年ごとにバラつき傾向がある 事から、直近の実績値を基本とする。						
量の見込み(補正後)	3,066人	3,066人	3, 026人	2, 925人	2,822人	2, 753人	

(6) 病児・病後児保育事業

(年間利用児童数)	H25実績	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	H 3 1	
調査のニーズ量	483人	4,825人	4, 768人	4,617人	4, 465人	4,362人	
量の見込みの考え方	利用希望があっても実際の利用にならない事が多いため実績値 と大きな差がある事から、直近の実績値を基本とする。						
量の見込み(補正後)	483人	483人	477人	462人	447人	437人	

(7) ファミリーサポートセンター事業

(年間利用児童数)	3か年平均		H 2 8	H 2 9	H 3 0	H 3 1
調査のニーズ量	142人	28人	28人	28人	28人	27人
量の見込みの考え方		『極端に少な E右される』				
量の見込み(補正後)	142人	142人	142人	142人	142人	137人